

研究専攻（専門領域）		文化環境研究専攻		学籍番号	07CS018
氏名	藤川 毅秋	ローマ字	FUJIKAWA Takeaki	国籍 (留学生)	
修士学位論文名		テレビ討論番組における「質問」と政治家による政治的言説の特徴についての分析			
提出年月日		2009年1月13日		指導教員	山崎 敬一
体裁 (論文)		50頁(1頁文字数1260字)		言語	日本語
別冊添付資料等		付録 トランスクリプト 20頁			
キーワード		会話分析 エスノメソドロジー 質問 政治的言説			
<p>本論文では、実際に放送された政治的テレビ討論番組で行われている会話の中の、「質問」という行為を分析し、司会者の役割や討論の仕組み、テレビの中での政治的言説の特徴を、エスノメソドロジーや会話分析などの理論を用いることで明示化することを目指した。</p> <p>本論文では、政治的言説、政治的言説を引き出すキャスターのふるまい、政治家同士や政治家と政治の専門家との討論を、エスノメソドロジーの基本的視点やエスノメソドロジーから発展した会話分析を用いて研究、分析した。</p> <p>1章では、本研究の背景と目的について述べた。</p> <p>2章では、研究領域と先行研究を示した。最初に研究領域として、エスノメソドロジーの説明を行った。また先行研究として、Clayman & Heritageによる米国大統領のニュースインタビューの比較や、本田厚子による日本における政治的テレビ討論番組と司会者の役割などの研究を示した。</p> <p>3章では、分析方法について示した。最初に本研究で使用する分析方法である会話分析の説明を行った。また、分析対象となる政治的テレビ討論番組の紹介と、政治的テレビ討論の映像を文字化(トランスクリプト化)する際に使用する記号等の説明を記した。</p> <p>4章では、政治的テレビ討論における「質問」という行為に注目した分析を行った。「質問」という行為により、司会者は、相手にあいづちを求めることで議論促進と発話保護をするなど、討論の中でどのような役割を果たしているかを考察した。また、司会者と討論参加者の関係性として、政治的テレビ討論における司会者は、「質問」をすることで議論を進行させ、知識があるのにも関わらず政治家やその他の討論参加者に、答えを知らない立場から「質問」を行うということを考察した。つまり、司会者は、議論を進行するとともに議論の具体的な内容を知らない視聴者の立場に立って行っているのではないかとということ考察した。</p> <p>5章では、同様の質問に対して、異なる立場(政治家、専門家、国会議員ではないが大臣を担当している専門家)の参加者が回答している場面を選出して、言説を比較、分析した。その結果、政治家は、自身が行った政策についての批判ができないなど、本当に言いたいを言うのが難しい場面があるのに対して、専門家は、政治家が批判できなかった政策についての批判など、自由な発言が可能であることがわかった。これは、政治家の発言には制約があるため、自由に考えていることを発言することが難しいので、専門家は政治家の発言の代弁という役割を、政治的テレビ討論番組の中で果たしていると考察した。</p>					